

福音宣教を巡る戦い

2023年1月29日

使徒の働き 17章1～15節

序：ピリピ ～（アンピポリス～アポロニア）～ テサロニケ ～ ペレア
 4人 彼ら＝3人 パウロ
 イグナティア街道（軍用道路） テモテ シラス

I. テサロニケでの宣教

(1)マケドニア州の首都、商業都市、ユダヤ人の会堂を拠点 3回の安息日を過ごす

(2)内容：旧約聖書に基づき、宣教

メシア預言 = イエス・キリストにより成就

苦難（十字架上の贖いの死） 埋葬 復活（身体ごと）

聖書に書いてあるとおりに

私があなたがたに宣べ伝えているイエスこそキリストと説明論証

(3)方法：ことばだけでなく、力と聖霊と強い確信を伴って テサロニケ I 1・5

(4)結果：信じた人々 ①ユダヤ人のある者たち ②神を敬う多くのギリシャ人たち
③かなりの数の貴婦人たち

ユダヤ人たちの妬み ∴ユダヤ教から大勢を盗んだ

(5)反対者 ①暴動を起こして町を混乱させた（よた者たちを掻き集め、口実作り）
（その原因はパウロとシラスにある）

②彼らの宿泊先のヤソンの家に強制捜索（二人は見つからない）

□-7 16·21

③二人を捕らえ損い、代わりにヤソンと信者達を町当局に告訴

理由は 騒乱罪（治安を乱す） 世界中を騒がせている：大げさ
反逆罪（イエスという別の王がいる）

キリスト教 ↔ ローマ帝国、キリスト ↔ 皇帝

群衆と町の役人たちは動揺

影響力に脅威を感じ、強い警戒、迅速な撲滅を図るユダヤ人たち

(6)決着：訴えの根拠不十分 ヤソンたちは保釈金を払って釈放された
二度と使徒たちに協力するなと釘をさされた

Ⅱ. ベレアでの宣教

- (1)テサロニケの信徒たちは 夜のうちにパウロとシラスをベレアに送り出した
+ テモテ
- (2)ユダヤ人の会堂（繁栄した町、ユダヤ人も多く住んでいた）
- (3)ここのユダヤ人たちはテサロニケとは違っていた（好意的）
 - ①善良・素直
 - ②非常に熱心にみことばに傾聴
 - ③毎日、聞いたことを（旧約）聖書に照らし合わせて研究、真偽を確認
- (4)結果：信じた人々
 - ①ユダヤ人の多く
 - ②ギリシャの貴婦人たち
 - ③ " 男たち
- (5)妨害：テサロニケから聞きつけてやってきたユダヤ人たちの参入
 - ①ベレアでもパウロが福音を相変わらず宣教している
 - ②群衆を扇動して、騒動を演出
- (6)対応：パウロだけ先に海岸まで送り出す ⇒ アテネまで案内
シラスとテモテは、ベレアに留まる
パウロの伝言：できるだけ早く、二人もアテネに来るよう

Ⅲ. 結び

- (1)福音を聞く人々は千差万別 ⇒ 信じるか信じないままか
- (2)みことばは聞くだけではなく、研究するもの（納得） 聖霊の導き
- (3)聖書を調べる ⇒ 回心 その後の成長、教会形成に不可欠
- (4)危害を加えようとする者には、刃向かわず、安全確保のため逃げる ≠ 敗北
- (5)いかなる状況下でも、神のことばは前進する
- (6)新しく生まれた者は、新しい人として、この世の中で行動し、生きる